

令和5年度 第1回 竜禅寺小学校運営協議会 議事録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年4月28日（金） 15時00分から16時45分まで
- 2 開催場所 竜禅寺小学校 会議室
- 3 出席委員 寺田 成一、松本 直己、柳川 春彦、加藤 京子、鈴木 宏幸
高須 道男、倉重 建朗、新井 和美、北井 実香
- 4 欠席委員 なし
- 5 学校 水野 敦司（校長）、佐々木和也（教頭）、松井 康子（教務主任）
富田 みゆき（CS担当教員）
- 6 教育委員会なし
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 中村 朝実
- 9 協議事項
 - (1) 会長、副会長の選出について
 - (2) 議長の選出について
 - (3) 学校運営の基本方針、児童の育てたい力について
 - (4) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について
 - (5) 竜禅寺小学校いじめ防止基本方針について

10 会議記録

委員総数9名のうち9名の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している確認をした。

(1) 会長、副会長の選出について

司会から、会長の選出について話があり、倉重委員に会長をお願いすることに満場一致で決定した。副会長については、倉重会長から北井委員にお願いしたいとの声が上がリ、全員異議なくこれを承認した。

また、倉重会長から挨拶の中で、本年度の竜禅寺小学校運営協議会目標を決めたいという発言があり、協議の結果以下の二つに決定した。

- ・学校行事や授業等を積極的に参観し、学校の実態を知ろう。
- ・学校運営協議会の役割を正しく理解していこう。

(2) 議長の選出について

議長について、北井副会長にお願いする声が上がリ承認された。

(3) 学校運営の基本方針、児童に育てたい力について

学校運営の基本方針について、水野校長から説明があり、委員からは以下の意見が出された。

- ・とても子供に寄り添った良い計画だと思う。子供たちが友達と仲良くできることはいじめ減少に直結する。運営協議会の活動も基本方針に近づいていきたい。（高須委員）

- ・子供たちの様子から、努力を続ける事で苦しさを乗り越えられるという経験が欠如しているのではないかと感じられる。(松本委員)
- ・一つのことを終えてしまうと満足してしまい、その次の目標が持てない子供が多いと感じている。(校長)
- ・このような問題の解決にもつながるのと思うので、ぜひ基本方針に示された取組を進めてほしい。しかし、子供たちに無理強いをしてはいけないとも思う。(松本委員)

協議の結果、全員異議無くこれを承認した。

(4) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

夢育やらまいか事業の学校運営協議会設置校加算分に対する意見書について、教頭から説明があり、以下の質疑応答後に全員から承認された。

- ・様々な職種の方との触れ合いを通して、いろいろな世界を見せてあげられればと思う。(高須委員)
- ・毎年、来てくださっている方もいるが、その他にも学校へお招きできそうな方がいらっしゃったら、ぜひ御紹介していただきたい。(校長)
- ・委員の中でもできる者がいたら、ぜひお願いをしたい。(高須委員)

(5) 竜禅寺小学校いじめ防止基本方針について

昨年度末に定められた、『竜禅寺小学校いじめ防止基本方針』について坂口教諭より説明があり、以下の質疑応答があった

- ・いじめに関して、電話だけで家庭への連絡をしていると、被害者側が話を大きく感じてしまうことはないか。保護者と先生方と顔を合わせて話をするのが効果的であると思う。電話だけでは状況が通じないこともあり、そのことが原因で、更なるいじめにつながってしまうとも思う。各学校にいる専門家(いじめコーディネーター等)が家庭へ連絡することもよいのではないか。いじめの情報を得たら校内で話し合い、その上で保護者へ連絡してはどうか。いじめの解消に向けて、子供一人一人が自己肯定感を持ってほしいし、学校は保護者と向き合ってほしい。(高須委員)
- ・保護者同士がつながり、ある特定の子供を非難しているのはとても怖いことである。(松本委員)
- ・保護者同士の仲違いがいじめの原因となっていることもある。いじめを察知したならば、保護者に来校を促し、まずは顔を合わせて何人かで対応することが大切だと思う。先生や保護者がいないところでのいじめは分かりにくいので、どうやってそれを見付けていくのかも肝要である。(新井委員)
- ・いじめの実態が分かった時点で、すぐに対策委員会を開き相談し組織で対応していく。(校長)
- ・マニュアルも大切であるが、そのとおりにいかないことも多いので、参考にしながらも臨機応変に対応してもらいたい。(新井委員)

- ・対応の様子が分かりやすくなっている。(倉重委員)
- ・昨年度、いじめへの対応は126件であった。小さなことでも組織で対応し、市へ報告している。全職員がアンテナを高くし、被害者が「いじめ」だと思ったら、それらを全て対策委員会では「いじめ」として認知していく方針である。(坂口教諭)
- ・アンケートもいじめの実態を知る情報源となっているか。(倉重委員)
- ・もちろん、それは有効かつ重要な情報源である。そればかりではなく、子供からの通報も大切な情報源となっていて、全職員が子供たちの声に耳を傾けている。(坂口教諭)
- ・いじめに関わる重大な事案は報告されていないか。(倉重委員)
- ・本校では、本年度は今のところ、重大事案(いじめ原因となった不登校)は発生していない。(坂口教諭)
- ・いじめに関して、何度も名前が挙がるような子供はさみしがり屋ではないかと考えている。子供と保護者との関わりが大切なのだと思う。(新井委員)
- ・原因が何であれ、いじめという行為は決して許されるものではない。しかし、慎重にいじめの裏を探っていく必要はある。(坂口教諭)
- ・LGBTの子供が見受けられたらよく見てほしい。(松本委員)
- ・グループ活動を仕組むとクラスの間人間関係が分かりやすい。早めの対応がとにかく大切だと思う。いじめは0(ゼロ)にはならないものなので、とにかく早く察知し対応してほしい。(高須委員)
- ・今後も、子供に寄り添って指導、支援をしていく。(校長)

1 1 報告事項

- ・次回の学校運営協議会は令和5年7月10日(月)午後3時から会議室にて開催される。
- ・次回議長について、倉重会長から北井副会長にお願いしたい旨の発言があり、全委員より承認された。
- ・読み聞かせボランティアの募集を次回の議題として取り上げたいとの発言が学校側からあり、全委員の了解を得た。